

新型コロナウイルス感染症患者の発生について（第1報）

令和2年3月6日（金）、広島市内の医療機関から、新型コロナウイルス感染症患者の発生の報告があった。

1 患者概要

- (1) 年 代：30代
- (2) 性 別：男性
- (3) 居住地：広島市
- (4) 主な症状：発熱、咳

2 行動、症状の経過等

2月上旬 発症（咳）
2月15日（土）、16日（日）、20日（木） A医療機関を受診
2月22日（土）、28日（金） B医療機関を受診
3月 3日（火） C医療機関を受診
3月 4日（水） B医療機関を受診
3月 5日（木） D医療機関を受診。新型コロナウイルス感染症の疑いがあり、検体を採取
3月 6日（金）遺伝子検査の結果、新型コロナウイルス陽性と判明
3月 7日（土）感染症指定医療機関に入院

※本人からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はない。また、発症後はマスクを着用していたとのこと。

3 今後の対応等

現在、同居家族や受診医療機関の従事者等の行動歴を確認するとともに、濃厚接触者あるいはその可能性のある者に対し患者との接触状況の把握などを含め積極的疫学調査を行っているところである。この調査結果をもとに、当該濃厚接触者に対する、健康観察（毎日の体温確認等）とともに、PCR検査を適切に実施することとしている。また、この調査により当該濃厚接触者との接触拡大が判明した場合には、速やかに感染拡大防止のために必要な情報を市民に広く提供することとしている。

市民の皆様には、こうした対応を行う間、引き続き、咳エチケットや手洗いの励行など感染予防対策にご協力をいただきたい。